

I 第30週の発生動向 (2014/7/21~7/27)

1. 伝染性紅斑については、八戸保健所管内で第26週より**警報**が継続しています。
2. ヘルパンギーナについては、患者報告数が前週の105人から111人に増加しました。

II 第30週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県感染症発生動向調査 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上 十 三		む つ		青 森 県 計		前週からの増減	東地方(再掲)		青森市(再掲)		
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点	
小児科 内科	(90)	インフルエンザ													0					
	(79)	RSウイルス感染症				2	0.2						2	0.1	-6					
	(80)	咽頭結膜熱			2	0.2				1	0.2		3	0.1	-7					
	(81)	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	3	0.4	5	0.6	36	3.6	1	0.2	2	0.3	1	0.3	48	1.1	-1		3	0.4
	(82)	感染性胃腸炎	9	1.1	6	0.7	6	0.6	5	1.0		14	3.5	40	1.0	-11		9	1.1	
	(83)	水痘	5	0.6	1	0.1	6	0.6			1	0.2	9	2.3	22	0.5	5		5	0.6
	(84)	手足口病			7	0.8	4	0.4	1	0.2	1	0.2	1	0.3	14	0.3	2			
	(85)	伝染性紅斑	8	1.0	3	0.3	13	1.3	2	0.4	6	1.0		32	0.8	-2		8	1.0	
	(86)	突発性発しん	5	0.6	5	0.6	3	0.3	2	0.4	4	0.7	1	0.3	20	0.5	3		5	0.6
	(87)	百日咳								1	0.2			1	0.0	1				
	(88)	ヘルパンギーナ	12	1.5	51	5.7	25	2.5	2	0.4	14	2.3	7	1.8	111	2.6	6		12	1.5
	(89)	流行性耳下腺炎			5	0.6	1	0.1			1	0.2			7	0.2	3			
眼科	(91)	急性出血性結膜炎														0				
	(92)	流行性角結膜炎								1	0.5			1	0.1	-4				
	(97)	クラミジア肺炎														0				
	(98)	細菌性髄膜炎														0				
基幹	(100)	マイコプラズマ肺炎										4	4.0	4	0.7	0				
	(101)	無菌性髄膜炎						1	1.0					1	0.2	-3				
	(82)	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)										1	1.0	1	0.2	-1				

は警報、は注意報。「空欄」:患者発生無し。

III 全数把握疾患(掲載数は最新情報)

- (9) 結核(二類全数把握疾患): 東地方+青森市2人、弘前2人、八戸3人、五所川原1人、むつ1人 (2014年計:189人)

IV 病原体検出情報

()内は、検査材料及び検体採取日、検出数です。

- ・A型肝炎患者(糞便、7/17)・・・A型肝炎ウイルス:青森市(1)

感染症の窓

レジオネラ症(四類全数把握疾患)

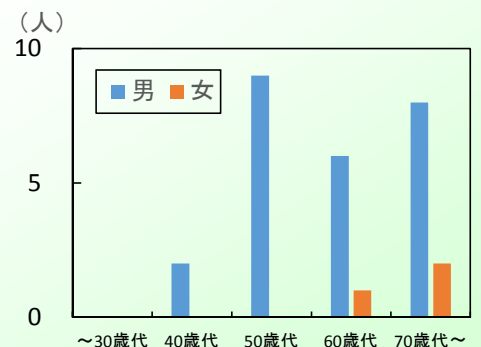
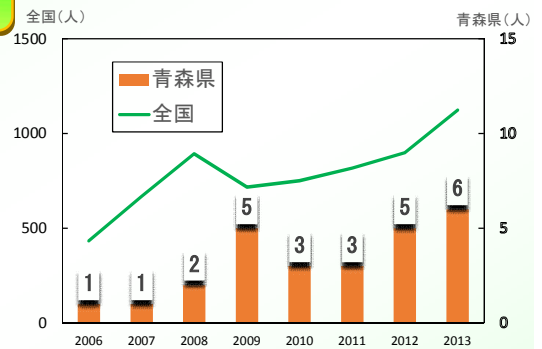
レジオネラ症は、レジオネラ・ニューモフィラを代表とするレジオネラ属菌による細菌感染症で、その病型は劇症型のレジオネラ肺炎と一過性のポンティアック熱があります。レジオネラ肺炎は、発熱、咳嗽、喀痰、呼吸困難とともに、頭痛、筋肉痛、下痢、意識障害、精神神経系症状などの呼吸器以外の症状も多くみられます。ポンティアック熱は、発熱、咳嗽、筋肉痛、頭痛などで呼吸器症状は軽微です。レジオネラ属菌は、もともと土壌や水環境に普通に存在する菌ですが、快適な生活や水資源の節約のため、ジャグジー等のエアロゾルが発生する人工環境や循環水を利用した風呂が屋内外に多くなっていることなどが感染する機会を増やしているものと考えられています。病原体に曝露された誰もが発症するわけではなく、細胞内寄生細菌であるため、細胞性免疫能の低下した場合に肺炎を発症しやすい傾向にあります。

全国における患者報告数は、2010年以降、毎年報告数が増加しており、2013年には過去最多の報告数となっています。例年、主に7月にピークがみられています。

本県においては、2006年以降、1~6人の範囲で推移しており(図1)、今年は第29週現在で2人の報告があります。2006年から2014年第29週までの報告においても、男性が多く(男性25人、女性3人)、年齢層別では50歳以上が大半を占めています(図2)。

疑わしい症状が現れた場合は早めに医療機関を受診しましょう。

(【参考】国立感染症研究所感染症疫学センター)



V 保健所管内別全数把握疾患発生状況（2014年第14～第30週）

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
14	H26.3.31 ~ H26.4.6	アメーバ赤痢1人					
15	H26.4.7 ~ H26.4.13	侵襲性肺炎球菌感染症1人					
16	H26.4.14 ~ H26.4.20	急性脳炎1人	梅毒1人				
17	H26.4.21 ~ H26.4.27			A型肝炎1人			
18	H26.4.28 ~ H26.5.4			急性脳炎1人 梅毒1人			
19	H26.5.5 ~ H26.5.11			アメーバ赤痢1人		後天性免疫不全症候群1人	
20	H26.5.12 ~ H26.5.18		つつが虫病1人	アメーバ赤痢1人			
21	H26.5.19 ~ H26.5.25	侵襲性肺炎球菌感染症1人		梅毒1人			
22	H26.5.26 ~ H26.6.1	つつが虫病1人	後天性免疫不全症候群1人	破傷風1人			
23	H26.6.2 ~ H26.6.8		侵襲性肺炎球菌感染症1人	つつが虫病1人 レジオネラ症1人	つつが虫病1人		
24	H26.6.9 ~ H26.6.15	つつが虫病1人		E型肝炎1人 つつが虫病2人			
25	H26.6.16 ~ H26.6.22			アメーバ赤痢1人 侵襲性肺炎球菌感染症1人		つつが虫病1人	
26	H26.6.23 ~ H26.6.29	つつが虫病1人					
27	H26.6.30 ~ H26.7.6		侵襲性インフルエンザ菌感染症1人		腸管出血性大腸菌感染症1人 つつが虫病1人		
28	H26.7.7 ~ H26.7.13			腸管出血性大腸菌感染症1人			
29	H26.7.14 ~ H26.7.20	A型肝炎1人 クロイツフェルト・ヤコブ病1人	E型肝炎1人				
30	H26.7.21 ~ H26.7.27						

VI 結核(二類全数把握疾患) (2014年第20週～第30週)

単位：人

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
20	H26.5.12 ~ H26.5.18		1	2	1		
21	H26.5.19 ~ H26.5.25	3	1	1	1	2	
22	H26.5.26 ~ H26.6.1	1		1			1
23	H26.6.2 ~ H26.6.8	2	4		1		
24	H26.6.9 ~ H26.6.15	1	1	4	1	2	
25	H26.6.16 ~ H26.6.22	3					
26	H26.6.23 ~ H26.6.29	2		4	1	1	
27	H26.6.30 ~ H26.7.6	2		2	1	1	
28	H26.7.7 ~ H26.7.13	2		5			
29	H26.7.14 ~ H26.7.20	1	1	4	1	1	1
30	H26.7.21 ~ H26.7.27	2	2	3	1		1

VII 全数把握疾患発生状況(全国-青森県)

(注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

全国

(2014年第1週～第28週累計)

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病	回帰熱	Q熱	コクシジウム症	重症熱性血小板減少症候群	チングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	ポツリス症	マリア	ライム病	
累積報告数	13267	2	54	1198	22	8	76	372	6	6	1	1	1	32	6	105	86	68	6	1	31	2	
分類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	
疾病名	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	先天性風しん症候群	梅毒	破傷風	バンコムイン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん				
累積報告数	570	7	587	139	263	79	88	141	799	35	113	21	1123	8	813	64	31	241	412				

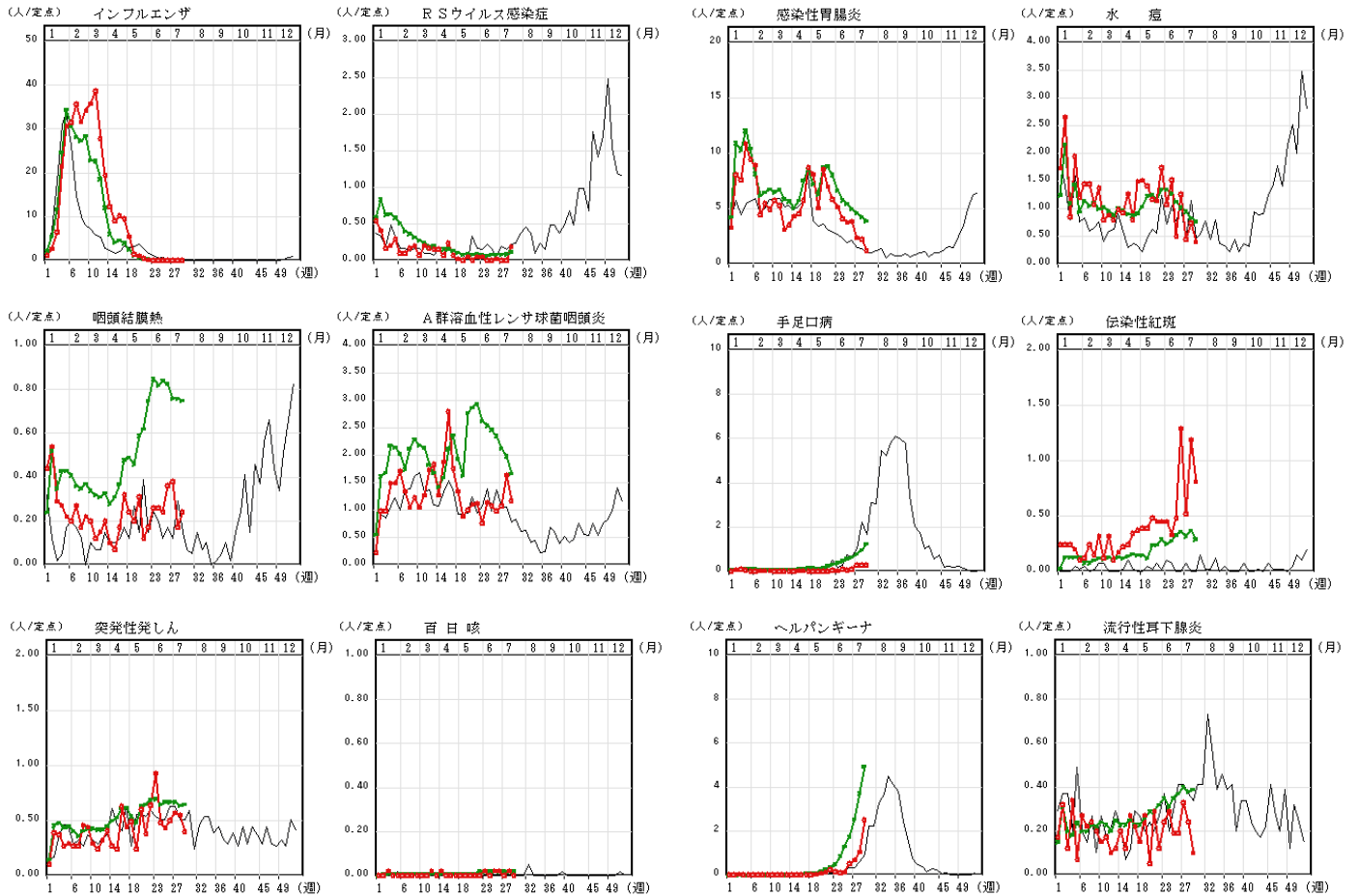
青森県

(2014年第1週～7月28日16:30累計)

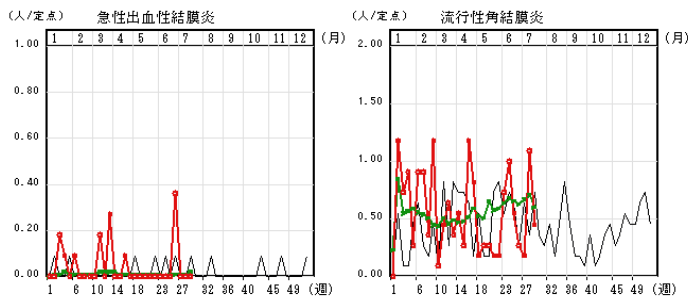
分類	二類	三類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	A型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	梅毒	破傷風							
累積報告数	189	2	2	2	10	2	6	8	1	1	2	1	6	3	1							

VIII インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 (2014年第29週)

グラフの説明 ○—○は2014年青森県、—は2013年青森県、×—×は2014年全国



IX 眼科定点把握疾患週別推移 (2014年第29週)



X 基幹定点把握疾患週別推移 (2014年第29週)

